



誇

学校教育目標
苫小牧市立凌雲中学校
学校だより
第1号
令和8年4月22日(水)

胸を張り
理想にもえる健康人
肩を組み
平和で民主的な社会人
賢く正しく
正義を愛し創造性豊かな文化人
やり通そう
意志の強固な実行人

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/ryoun/>

「令和8年度の学校づくりが始まります」

凌雲中学校長 細部 善友

4月9日の入学式で74名の新入生を迎え、全校生徒数236名で令和8年度の凌雲中学校がスタートしました。保護者並びに地域の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この学校だよりは、本校生徒の「今」をお伝えするとともに、学校が目指すところについてもお伝えすることを目的として毎月発行いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度も昨年度に引き続き、「自立した学習者の育成」を最上位の目標に掲げ、「学びに向かう力」、「心身の健康を維持、増進する力」、「共生する力」の育成を目指して教育活動の充実に努めてまいります。とりわけ、学びに向かう力を育むために、今年度は「指導と評価の一体化」に重点的に取り組んでまいります。

指導と評価の一体化とは、一言で申し上げますと、生徒自身が自分の学びを改善し、その成果を確かめ、学ぶ喜びを感じながら、さらに学びに向かう力を高めるための方策です。ここでいう「指導」とは、知識や技能を教えるだけではなく、生徒がどの程度習得しているか、どの程度使いこなしているかを評価し、その評価に基づいて改善のための手立てを打つことも指導として捉えます。また、この場合の「評価」とは、何ができていて何ができていないのかを見取ることです。これにより、生徒にとっては自分の学びを振り返って学びを改善するきっかけとなり、教師にとっては新たな指導を考えるきっかけとなります。

このように、生徒の現状を分析することを評価とし、その評価に基づいた指導を行うことを「指導と評価の一体化」と言います。そしてこうした考えに基づき、通知表の在り方も見直します。

指導と評価の一体化をすすめ、学習の効果が最大化したところを記録として残し、これをもとに通知表に記載する成績を算出します。このような5段階評定(1~5)や観点別評価(A~C)を「評定」といいます。この評定は、各教科においてその学年の目標に対してどれだけの達成度があったかを表すものであり、これまでは、学期ごとに通知表をお渡しする際には、学年末を除き、その学期ごとの達成度を成績としてお知らせしてまいりましたが、これから指導と評価を一体化させ、目標に対してどれだけの達成度に到達したかを見取るためには、年間を通じて積み重ねた達成度をみる必要があります。そこで、今年度からは、1学期末にお渡しする通知表には1学期での達成度、2学期末にお渡しする通知表には1学期から2学期までを通算した達成度、学年末にお渡しする通知表には年間を通算した達成度をそれぞれ評定として表記いたします。

このほかに今年度からは、令和10年度の部活動の地域展開に向けて、保護者や地域の皆様のお力をお借りして運営する部活動の形態を模索していこうと考えております。この点につきましても皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。この地域の子どもの文化・スポーツ活動を将来にわたって持続可能なものとするため、皆様のお力添えをお願いいたします。

なお、これらのことにつきましては、本校のホームページにより詳しく述べました。学校経営方針および学校経営グランドデザインも掲載しておりますので合わせてご参照願います。

皆様、一年間どうぞよろしくお願いいたします。

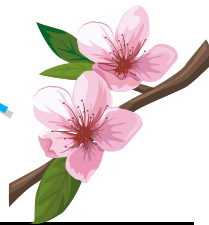
苫小牧市立凌雲中学校ホームページ

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/ryoun/>

→こちらのQRコードからもアクセスできます。



転入職員紹介



○本校在籍教諭

- [Redacted]
- [Redacted]
- [Redacted]

○そのほか、新たに来られた先生方

＜不登校対策支援員＞ 週4日以上

- [Redacted]

＜日本語指導支援員＞ 週2日

- [Redacted]

＜通級指導（3年生担当）＞週1日

- [Redacted]

＜体力向上事業＞週1日

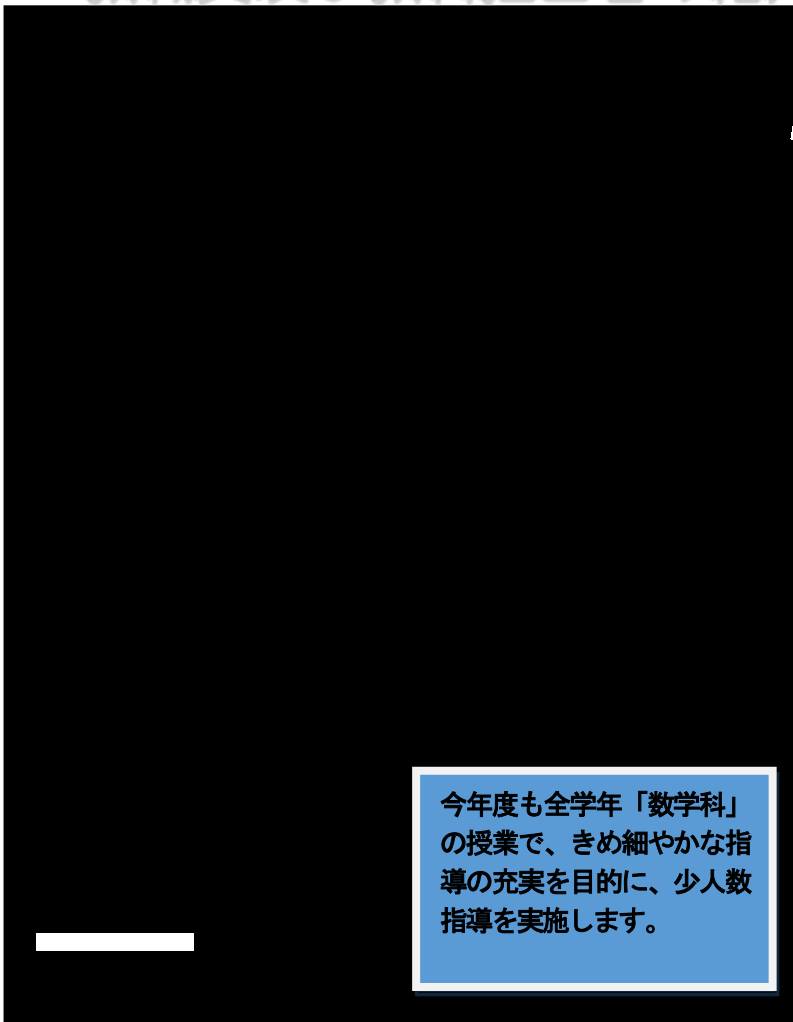
- [Redacted]

＜ALT／外国語指導助手＞週2日

- [Redacted]

よろしくお願いいたします。

教職員及び教科担当者の紹介



4・5月の予定

- 22 (水) 全国学力・学習状況調査/英・生徒質問
- 23 (木) 全国学力・学習状況調査/国・数
苦小牧市内統一テスト(1・2年)
生徒総会議案書審議
- 24 (金) 参観日(全学年)・PTA総会
- 25 (土) バスケットボール春季大会(26日, 29日)
バドミントン春季大会(26日)
- 28 (火) 全国学力・学習状況調査/英
尿検査(1次)
- 29 (水) 昭和の日
- 30 (木) 自転車点検(部活動関係)
 - 1 (金) 生徒総会
 - 3 (日) 憲法記念日
全日本軟式大会(野球)～5日
 - 4 (月) みどりの日
民報杯(バドミントン)
 - 5 (火) こどもの日
 - 6 (水) 振り替え休日
 - 8 (金) 二者懇談(1・2年)～15日
 - 12 (火) 心臓病検診(1年)
 - 14 (木) 修学旅行(3年)～16日
 - 17 (日) 春季胆振大会(バドミントン)
 - 18 (月) 回復休(3年)
 - 19 (火) 内科検診(1年・4組)
体育大会種目説明会議
 - 20 (水) 職員会議・尿検査(2次)
 - 21 (木) 4組授業見学
 - 22 (金) 歯科検診
 - 27 (水) 内科検診(2・3年)
 - 29 (金) 英語検定

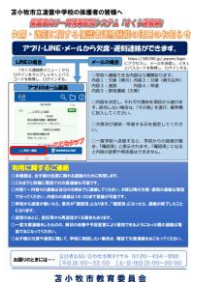
○留守番電話機能について

4月10日付け文書「留守番電話の運用について」にて周知しているところですが、今年度も昨年度より引き続き留守番電話機能を活用してまいります。留意事項等を確認いただきご対応いただきますようお願いいたします。



○さくら連絡網について

4月10日付け文書「保護者向け一斉情報配信システム「さくら連絡網」における保護者連絡機能の利用について」にて機能の具体的な内容をお伝えしております。特に、お子さまが学校を休まれる際には、本機能を活用した連絡をお願いしております。確実にご連絡をいただきますようお願いいたします。



今年度も全学年「数学科」の授業で、きめ細やかな指導の充実を目的に、少人数指導を実施します。

凌雲中の4月



新1年生74名を無事に迎え入れ、本校の令和8年度が始まりました。写真は認証式の様子のもので、真新しい制服に身を包んだ1年生、先輩としての横顔が馴染んできた2年生、最高学年としてのリーダーシップを発揮する3年生。さらに充実した学校生活を繰り広げてくれそうです。今後の活躍が楽しみです。

学校いじめ防止基本方針について

国立教育政策研究所のいじめ追跡調査（6年間）では「約9割の児童生徒が立場を入れ替えてついでに被害、加害にもなり得る」と報告しております。このことからいじめは誰にでも起こりうるものと捉えなければなりません。

本校では「学校いじめ防止基本方針」を示し、いじめを許さない風土の醸成を図っております。問題を解決するためには、早期発見・初期対応が鍵となります。保護者・地域・学校が一体となり組織的な連携、見守り体制の構築をお願いいたします。詳しくは本校HPをご覧ください。

【連絡先】いじめ対策委員会（凌雲中学校内）

困ったり、悩んだりしたときはこちらへ



【 SC 】

（スクールカウンセラー）

■■■■ SC

生徒でも保護者の方でもカウンセリングを受けることができます。悩みや不安を抱えている人に寄り添い、傾聴しながら心理専門的な視点で相談に応じてくれます。月に2回程度しか学校に来ませんので、興味のある方は事前に担任の先生、もしくは教頭までお話しください。今年度も近森 SC が本校に勤務されます。これまでも保護者の方や生徒のとのカウンセリングを行っていただいております。スクールカウンセラーだよりを発行しておりますのでご覧ください。

【 SSW 】

（苫小牧スクールソーシャルワーカー）

凌雲中学校担当； ■■■■ チーフSSW

学校職員ではなく、執務室は教育センター（旧市立病院）にあります。お子様の育て方や学校教育にまつわる不安（不登校、学習、いじめ、進路などなど）に対して**保護者の方を支援する役割**を担ってくれます。お気軽にご相談ください。

二次元コードはこちら
（リーフレット）



【 心の教室 相談員 】

■■■■さん（相談員）

不登校や学習面だけではなく、一般的な相談をしたい**生徒の皆さんの居場所**として「心の相談室」を設けています（校内の3階）。時間は9時～13時まで相談員さんが在駐しており相談事を聞いてくれたり、優しく見守ってくれたりします。誰でもOK！ただし、先生ではありませんので学習したかったら内容は担任の先生と相談してくださいね。週2回開設しています。詳細は担任の先生、もしくは教頭までご相談ください。



【 不登校対策支援員 】

（校内教育支援センター「そよかぜルーム」支援員）

新設

■■■■先生

「教室へ入りにくい。」「昼夜逆転……日中の登校場所に利用して教室復帰を目指したい。」「授業についていけず登校できない……。」そんな声に応えられるよう、今年度から校内1階に教育支援センター「そよかぜルーム」を設け自分のペースに応じて学べる居場所をつくりました。工藤先生が担当してくれます。詳しくは学校HP掲載のリーフレットをご覧ください。

